

## MITテクノロジーレビュー主催『Innovators Under 35 Japan 2021』に、モーションリブCEO溝口貴弘が選出

モーションリブ株式会社（本社：神奈川県川崎市）は、当社の代表取締役CEO溝口貴弘が、MITテクノロジーレビュー [日本版] 主催のアワード「Innovators Under 35 Japan 2021」において、未来を創る35歳未満のイノベーターの1人に選出されましたのでお知らせいたします。



「Innovators Under 35」は、米国マサチューセッツ工科大学（MIT）のメディア部門「MITテクノロジーレビュー」が主催する国際アワードです。世界的な課題解決に取り組み、向こう数十年間の未来を形作る、独創的で才能ある35歳未満の若きイノベーターの発掘を目的とし、過去にはGoogle共同創業者のセルゲイ・ブリン氏、Facebook共同創業者兼会長兼CEOのマーク・ザッカーバーグ氏も受賞するなど、国際的に権威あるアワードとして高く評価されています。

『Innovators Under 35 Japan』はその日本版にあたり、昨年に続く2回目の開催となります。本年度は「コンピューター／電子機器」、「ソフトウェア」、「輸送（宇宙開発）」、「インターネット」、「AI／ロボット工学」、「通信」、「エネルギー／持続可能性」の全7分野において350件を超える国内外の候補者の推薦・応募があり、最終的に15人が受賞者として選出されました。なお、日本版の受賞者は次年度のグローバル版の候補者としてノミネートされます。

12月16日（木）には、東京・日本橋三井ホールにて、受賞者を紹介する「Innovators Under 35 Japan Summit 2021」が開催され、当社CEO溝口も登壇する予定です。本イベントの様子はオンラインでも配信されます。

詳細はInnovators Under 35 JapanのWebサイトをご覧ください。

<https://events.technologyreview.jp/iu35/>

【MITテクノロジーレビューについて】

『MITテクノロジーレビュー（MIT Technology Review）』は1899年に米国マサチューセッツ工科大学によって創設された、世界で最も歴史と権威があるテクノロジー誌です。米国版の読者層は、その8割超がテクノロジー部門の責任者であり、6割が経営層に読まれています。日本版は株式会社KADOKAWAの子会社である株式会社角川アスキー総合研究所が米Technology Review Inc.とのライセンス契約のもと、2016年10月から会員制Webメディアとして運営。2020年からは、紙媒体『MITテクノロジーレビュー [日本版]』も発行しています。

<https://www.technologyreview.jp/>

### 【モーションリブ株式会社について】

モーションリブ株式会社は、機械が力触覚を自在にコントロールするために必要なリアルハプティクス（※1）について、機械への実装を可能にするための研究開発から、キーデバイスである「AbcCore（※2）」の製造販売まで行う慶應義塾大学発ベンチャーです。

「AbcCore」は力センサや特殊なモータなどを必要とせず、市販のモータを使って力加減や力触覚伝送の制御を実現する点に技術的優位性をもっています。この「AbcCore」は、すでに70社ほどの企業に先行提供されており、共同研究や、実用化が始まっています。

また当社は、共同研究を行う「ソリューション事業」、「AbcCore」を提供する「デバイス事業」、技術を提供する「ライセンス事業」の3つの事業を柱に、お客様の製品企画から量産販売までをサポートできる体制を構築しています。モーションリブ株式会社では、リアルハプティクスの実用化をさらに加速するために、共同研究企業様の募集を積極的に行っております。

### ※1 リアルハプティクスについて

慶應義塾大学で発明された力触覚伝送技術で、アクチュエータの力加減を自在に制御することができる技術です。この技術により、力センサレスで力触覚をとまなう「遠隔操作」「計測可視化・分析」「自動化」「感触の再現・VR」が可能となります。

### ※2 AbcCoreについて

モーションリブ株式会社が開発した、リアルハプティクスの実装を簡便にする汎用力触覚ICチップです。以下の特徴があります。

- ・力加減の制御：リアルハプティクスをモジュール化し、リアルタイムな力加減の計測と制御を実現。
- ・力触覚を伝送：力加減をデータ化して、遠隔地に伝送。双方向に力触覚を伝え合うことを簡単に実現。
- ・力センサレス：独自の力推定アルゴリズムにより力センサの設置が不要。(力センサの使用も可能)
- ・高い汎用性：市販のアクチュエータ・機器を使用して力の制御が可能。既存システムへの組み込みも容易。

<https://www.motionlib.com/>

 **MOTION LIB**

---

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000018.000027265.html>

モーションリブ株式会社のプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/27265](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/27265)

---

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

モーションリブ株式会社 福田・松浦

メールアドレス：contact@motionlib.com